

令和4年度松阪市児童生徒科学作品展 審査講評 (小学4年生)

総出品数50点、身近な自然や時事的な話題、自分の興味・関心に基づいたものなど、バラエティに富んだ作品が集まりました。

研究の動機がしっかりしているものは、徹底的な観察や複数回の実験を通じて、自分よりの考えに自分よりの根拠をつけて説得力のある作品になっていました。

自分の興味・関心から出発している研究は、主体的に研究を進めている様子が感じられ、研究そのものを楽しんでいるところも多かったと思います。

特選Aの2作品は、丁寧な実験、実験の結果からの課題の発見、たくさんの資料集め、結果のまとめ方など、研究のお手本となるすばらしいものでした。

今年も50点の作品が集まりましたが、身近な自然に目を向け、自分の発想を活かした作品が数多くありました。結果から生まれた疑問もいくつかあり、これを追究していければさらにいい研究になったものと思います。

来年もたくさんの応募があることを願っています。